

平成23年政事業レビューシート

(環境省)

事業名	自動車の低炭素運転(エコドライブ)促進事業		担当部局	水・大気環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	開始年度:平成24年度 終了(予定)年度:平成28年度		担当課室	自動車環境対策課		自動車環境対策課長 上河原 献二		
会計区分	エネルギー対策特別会計 (エネルギー需給勘定)		施策名	1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第1号ハ 特別会計に関する法律施工令第50条第7項第8号		関係する計 画、通知等	○中長期の温室効果ガス削減目標を実現するための対策・ 施策の具体的な姿(中長期ロードマップ)(中間整理)(平成2 2年12月、中長期ロードマップ小委員会) ○エネルギー基本計画(平成22年6月、閣議決定) ○「京都議定書目標達成計画」(平成20年3月、閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	我が国CO2排出量の約2割を占める運輸部門のうち、約8割は自動車占める。約100万台の運送事業者等(緑ナンバー)では、 エコドライブが組織的に普及している一方、2,300万台の法人車両(白ナンバー)においては、普及が進んでいない。このため削減 ポテンシャルの高い法人車両(白ナンバー)等に対して、エコドライブ支援装置の導入経費を補助することにより、エコドライブ普及 を促進し、地球温暖化防止等を図る。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	法人車両(白ナンバー)のエコドライブの普及を図るため、エコドライブ支援装置(車載器・燃費計等)を導入したエコドライブ活動 によりCO2排出抑制対策の取組を行う事業所(企業・団体)等に対して、導入費用を補助する。 また、導入効果を高めるため、講習会やフォローアップ等を行うとともに、エコドライブの取組の成果を全国的に波及するため、 様々なエコドライブ活動の取組状況を一元的に管理・共有する「エコドライブSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)」を構築し、 エコドライブ効果の「見える化」を促進するとともに、関係機関と連携して、エコドライブの効果的な全国推進を図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他(拠出金)							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	253	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 ()	
	エコドライブホームページ(SNS)の 登録車両台数			成果実績	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	事業実施によるCO2削減量			活動実績 (当初見込 み)	-	-	-	-
単位当たり コスト	10,100(円/t-CO2)		算出根拠	単位当たりのコスト=総事業費/事業実施によるCO2削減量				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	二酸化炭素排出抑制 対策事業費等補助金	0	100	平成24年度新規要求				
	二酸化炭素排出抑制 対策事業委託費	0	153					
計	0	253						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果			
予算監視・効率化チームの所見			
	削減ポテンシャルの高い法人車両(白ナンバー)等に対して、エコドライブ支援装置の導入経費の補助を行い、エコドライブ普及を促進し、地球温暖化防止等を図るよう事業の実施に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			